



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/~ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

45人の来賓・先輩・組合員が集う

滋賀銀行従業員組合は、機関誌「波紋」が昨年11月に300号を迎えたことを記念し、7月4日、記念レセプションを大津市内のホテルで開催しました。当日は、来賓・先輩・組合員、45名の参加をいただきました。

車谷書記長の司会で開会し、中島委員長の挨拶に続き、来賓を代表して金融労連松木静雄中央執行委員長、滋賀県労連丸岡英明議長、

機関紙「波紋」300号記念レセプション開催 職場に労働組合の風吹かす力



機関紙「波紋」300号記念レセプション
 滋賀銀行従業員組合 2009年7月4日

光り輝く歴史に自信を

日本共産党滋賀県委員会川内卓書記長からご挨拶をいただきました。

「波紋」初代編集委員長の山田啓一氏の発声による乾杯のあと、食事をしながらなごやかに交流を行いました。全員の来賓のみならずから挨拶を、諸先輩のみならずから近況報告をいただき非常に盛り上がりつつし

セプションとなりました。ご参加いただきましたみなさま、本当にありがとうございます。



山田初代編集長の発声で乾杯

伝統を引き継ぎ 頑張ります

初代編集長であった山田啓一氏は乾杯の挨拶で「四半世紀の間、継続して発行出来たのは凄い事だ」と述べられました。私も300号と言っても25年もの歴史が引き継がれていることは、本当に素晴らしいと感じました。当時の作成時の苦労話や昔の様子をお聞きして、パソコンが進化した今と違い、昔は大変な労力を費やし発刊されていたのだと感じました。

私と従業員組合との出会いは波紋でした。当時

の職場の組合員から手渡されたのをきっかけに毎月読むようになり、色々な相談にものってもらうようになり、従業員組合の一員になりました。300号の偉大な伝統を引き継ぎ、従業員組合の発展を目指し、頑張っていきたい次第です(八)

感動・楽しみを 与え続ける 努力決意



松木金融労連委員長のあいさつ

遠方からおこしいただいた来賓の金融労連・松

木委員長から、「機関紙を駆使し、職場に労働組合の風を吹かせて闘ってこられたことに敬意を表します」と挨拶いただきました。

滋賀銀行従業員組合の一員として、非常に嬉しく、また誇りに感じました。

機関誌「波紋」が、これからも読者に感動を与え続けられ、次号を楽しみにしていただけに、私たちは更に努力を積み重ねていく決意を新たに

しました。

今回、司会という名誉ある大役をさせて頂きました。不慣れなため、拙い司会でありましたが、来賓・先輩の方々のお気持ちに支えられ、無事、任務を果たすことが出来ました。

今後の組合活動のなかで機関紙・教宣活動をしていくうえで、大きな自信になりました。

皆様、今後とも「支援、ご指導の程、宜しくお願

職場の声を波紋させて300号。「継続は力なり」と言われますが、25年間よく続いたの思いが実感です。

県労連議長から「少数組合であっても輝き光っている。自信を持ってがんばってほしい」と励ましの挨拶を受けました。また来賓のみならず先輩組合員の挨拶を聞くとき、滋賀銀行の組合の歴史は従業員組合がリード



丸岡県労連議長のあいさつ

歴史・役割・責任 使命感を再認識

来賓、先輩、組合員等多くの出席者を迎え、充実したレセプションとなりました。400号、500号に

向けた期待へのメッセージもちようたいし、永年の歴史の重みと組合の果たした役割と共に責任・使命感を再認識しました。

ほとんどの方が二次会にも参加され、意外な方の芸達者ぶりにも大いに盛り上がりました。今後の組合活動の大きな活力になったことに感謝しています。(小)

300号記念縮刷版発刊



201から300号掲載

B5版 127ページ ¥600
 ご希望の方は書記局までご連絡ください